

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M211N209	精神・神経疾病論 (<i>Neuropsychiatry, Neurology and Neurosurgery</i>)	専門基礎科目 健康科学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	前	月・1	井上 亮・寺尾 岳 (精神神経医学講座) 内線：5051 E-mail：ryo@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

精神疾患、神経内科的疾患および脳神経外科的疾患の病態生理、症状、検査、治療を理解する

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 精神症状を把握し、薬物療法・行動療法などを理解しつつ、統合失調症、神経症などの主たる精神疾患を理解する	○						
2. 神経症状を把握し、神経・筋肉疾患を理解する	○						
3. 代表的な神経内科的および脳神経外科的疾患を理解する。	○						

【授業の内容】

1～8	精神神経科的疾患：①症候学、②薬物療法、③気分障害、④認知症/せん妄、⑤統合失調症、⑥児童精神医学・⑦人格障害、⑧神経症、摂食障害・依存症・精神科救急
9～13	脳神経外科的疾患：⑨頭痛、⑩脳血管障害、⑪脳腫瘍、⑫頭部外傷、⑬機能的脳神経外科
14～15	神経内科的疾患：⑭神経内科的中枢神経疾患、⑮末梢神経および筋肉疾患

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	小テスト	
B：意見の表現・交換			
C：応用志向			
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	次回の学習内容について予習する。(8h)
事後学修	前回の授業で学習した内容を復習する。(8h)

【教科書】

・病気がみえる vol.7 脳・神経 メディックメディア 第2版、2017年

【参考書】

・看護のための精神医学 医学書院

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3
期末試験 (筆記試験)	100%	○	○	○

【注意事項】

講義日程については後日掲示する。担当教官によっては月曜2限以外の講義も行われる。

【備考】

担当教員の実務経験の有無	<input type="radio"/>	
教員の実務経験	医師としての臨床経験	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	<input type="radio"/>	
教員以外の指導に関わる実務経験者	附属病院医師	
実務経験をいかした教育内容	各疾患の解剖、生理、病理、病態や治療について専門的見地から講義を行う。	
授業形態		